

教育システム情報学会

Japanese Society for Information and Systems in Education

JSiSE

発行日 2008年3月31日
発行所 教育システム情報学会
発行者 岡本 敏雄
〒533-0005
大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25-101号
TEL06-6324-7767 FAX06-6324-7767
<http://www.jsise.org/>
E-mail : secretariat@jsise.org

ニュース・レター No.153

事務局移転のご案内

この度、教育システム情報学会事務局が移転する運びとなりました。
つきましては、住所・電話番号・FAX 番号などの変更がございますのでお知らせ致します。
今後、ご連絡頂く際には、お間違いのないよう宜しくお願い申し上げます。

【新事務局の連絡先】

住所： 〒533-0005 大阪市東淀川区瑞光 3 丁目 3-25
パティオ白川 101 号 教育システム情報学会事務局
電話番号： 06-6324-7767
FAX 番号： 06-6324-7767
メールアドレス： secretariat@jsise.org（変更なし）

もくじ

事務局移転のご案内	1
会員募集キャンペーン実施のご案内	2
キャッチフレーズ募集	3
国際会議案内	4
2007 年度第 5 回研究会報告	6
研究報告のお求めについて	7
2008 年度第 2 回研究会講演募集	8
2008 年度研究会開催予定	9
特集論文募集	10
英文誌論文募集	11
新入会員の紹介	12
第 33 回全国大会開催日程・会場のご案内	12
学会誌・英文誌関連のお問合せについて	12

会員募集キャンペーン実施のご案内

35年の歴史を誇る教育システム情報学会には、現在 約1600名の皆様が会員として参加されておられます。

私共の学会活動をさらに活性化するため、下記の通り「会員募集キャンペーン」を実施します。今回のキャンペーンは、会員の皆様にご紹介いただいた方と、学会のイベント会場でお申込みいただいた方のみが対象となります。

教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いがいらっしゃいましたら是非、この機会にご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

記

1. キャンペーン期間

2008年3月1日より2008年6月末まで。

2. キャンペーンの内容

キャンペーン期間中に学会員からのご紹介があるか、学会のイベント会場で入会申込みいただいた場合、入会金の¥1,000を免除します。

3. お申込み方法

入会申込書（このニューズレターに同封しております）に必要事項を記入下さい。イベント会場以外でのお申し込みの際は、申込書の推薦人の欄に、推薦者（学会員）の所属・氏名を記載して学会事務局宛に送付下さい。

※事務局移転のため、下記の新事務局に郵送またはFAX下さい。

住所： 〒533-0005 大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25

パティオ白川 101号 教育システム情報学会事務局 宛

FAX 番号： 06-6324-7767

以上



キャッチフレーズ募集

JSiSE 会員獲得戦略委員会

JSiSE では、ポスターや出版物など学会 P R ・活性化のために使用する**キャッチフレーズ** を募集しております。JSiSE の活動領域や強みがひと目でわかり、“入会してみよう”という気持ちが起こる内容のものを期待しております。

奮ってご応募下さい。あなたのアイデアをお待ちしてます。

応募方法 電子メールにて下記連絡先までお送り下さい

件名には【JSiSE キャッチフレーズ応募】と記してください

書式・内容 特に制限はありませんが、概ね 30 文字以内で目的に合っていればどんなものでも OK です

締切り 平成 20 年 7 月 1 日

審査方法 本委員会で事前審査の後、理事・評議員会で最終決定

謝礼 採用された方に図書券 5000 円を進呈いたします

お問合せ・応募先

JSiSE 会員獲得戦略委員会

担当 宮寺 庸造 miyadera@u-gakugei.ac.jp



国際会議案内

国際会議は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介やインターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、下記までご連絡ください。

また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

新着情報： 6 件

(論文締切の順に並べてあります)

E-learn2008

開催日程： 2008 年 11 月 17-21 日

開催地： Las Vegas, Nevada, 米国

主催： AACE

<http://www.aace.org/conf/elearn/>

論文締切： 2008 年 4 月 29 日

ICCE 2008 (The 16th International Conference on Computers in Education)

開催日程： 2008 年 10 月 27- 31 日

開催地： Taipei, Taiwan

主催： APSCE (Asia-Pacific Society for Computers in Education)

共催： 教育システム情報学会、教育工学会

<http://www.apsce.net/icce2008/>

締切：

論文締切 2008 年 5 月 1 日

ワークショップ企画締切 6 月 15 日

ワークショップ論文締切 8 月 15 日

チュートリアル企画締切 8 月 1 日

博士課程院生コンソーシアム論文締切 8 月 1 日

パネル企画締切 8 月 1 日

インタラクティブセッション企画締切 8 月 1 日

備考： 昨年は広島で開催されました。今年は台湾での開催です。

ISWC2008 (The 7th International Semantic Web Conference)

開催日程： 2008 年 10 月 26-30 日

開催地： Karlsruhe, Germany

主催： Semantic Web Science Association

<http://iswc2008.semanticweb.org/general-info/>

締切：

Research track, Semantic Web In Use Track, Doctoral Consortium Tracks

アブストラクト提出 (research paper についてのみ) 2008 年 5 月 9 日

論文提出 5 月 16 日

Posters/Demos ポスター / デモ原稿締切 7 月 25 日

Semantic Web Challenge 原稿締切 7 月 4 日

Workshops

ワークショップ企画締切 3 月 28 日

ワークショップ論文締切 7 月 25 日

Tutorials チュートリアル企画締切 5 月 16 日

備考： 開催日程が ICCE2008 とバッティングしています。

PRICAI2008 (The Tenth Pacific Rim International Conference on Artificial Intelligence)

開催日程： 2008 年 12 月 15-19 日

開催地： Hanoi, Vietnam

<http://www.jaist.ac.jp/PRICAI-08/>

締切：

論文締切： 2008 年 5 月 26 日

ワークショップ企画締切： 6 月 6 日

チュートリアル企画締切： 5 月 6 日

備考： ベトナムで開催される国際会議は，比較的少ないです．後記の ASWC2008 の終了後，間 3 日おいての開催で，開催地もいずれも東南アジアです．

WI-08 (The 2008 IEEE/WIC/ACM International Conference on Web Intelligence)

開催日程： 2008 年 12 月 9-12 日

開催地： Sydney (シドニー), Australia

主催： IEEE, WIC (Web Intelligence Consortium), ACM

<http://datamining.it.uts.edu.au/wi08/html/wi/>

締切：

フルペーパー論文締切 2008 年 7 月 10 日

ワークショップ企画締切 4 月 10 日

ワークショップ論文締切 7 月 30 日

チュートリアル企画締切 7 月 10 日

備考： IAT-08 (Intelligent Agent Technology08) との合同開催です．

ASWC 2008 (3rd Asian Semantic Web Conference 2008)

開催日程： 2008 年 12 月 8-11 日

開催地： Pathumthani, Thailand

<http://aswc2008.ait.ac.th/>

論文締切： 2008 年 7 月 15 日

備考： タイで開催される国際会議は，比較的少ないです．前記の WI-08 と開催期間がバッティングしています．いずれも知的な Web システムに関係する国際会議ですが...

国際会議案内文責 曾我 真人 (和歌山大学) E-mail : soga@sys.wakayama-u.ac.jp



教育システム情報学会(JSiSE) 2007 年度第 5 回研究会 報告
「モバイル・ユビキタス学習環境 / 一般」

担当：研究会委員 渡邊成良 / 佐々木整

2008年1月25日(金)に、八王子学園都市センターにおいて2007年度第5回研究会を開催いたしました。今回の研究会は、八王子学園都市大学の講座(公開講座)として広く市民に公開する形式で開催されました。テーマは、「モバイル・ユビキタス学習環境」で、36名(うち八王子市民5名)の参加のもと、9件の発表が行われました。

本テーマ教育・学習支援のみならず様々な研究分野で取り上げられており、萌芽期を脱したといえます。今回の研究発表でも、昨年度と同様に新しいモバイルデバイス、ユビキタスシステムを応用した学習環境について単なる開発にとどまらない実践的な報告など、実用指向で興味深い試みが数多く紹介されていました。また、発表時には発表者と聴衆者との間で活発な議論が交わされ、大変有意義な研究会となりました。

開催日：2008年1月25日(金)

会場：八王子学園都市センター

(1) 数式変換の誤り同定機構について

奥田富蔵(東海大学教育研究所)、及川義道(東海大学)、井上 靖(東海大学総合科学技術研究所)

<発表概要> 解導出過程における数式の変換時の誤りを、学習者の意図した演算、変換にもとづいて、誤り箇所を同定する。本法は、基本的に正しい変換による式と誤りの入った式の構造的な重ね合わせ(matching)によって、誤り箇所を同定する。

(2) 3D 電子単語帳の開発

斉藤朋樹、牧田裕喜、佐々木整(拓殖大学)

<発表概要> 3D デスクトップ環境を利用し、PC 上で紙の単語帳のように操作できる電子単語帳の開発を行った。本稿ではこの3D デスクトップ環境上で動作する3D 電子単語帳について報告する。

(3) 産学協同教育としてのインターンシップとそのシステム展開

- ナレッジ・マネジメント活用の「Vインターンシップ」 -
井上一郎(京都産業大学)

<発表概要> 授業の最中に、学生の理解度をリアルタイムに把握することを目的とした携帯電話を用いた小テスト・アンケートシステムについて発表する。本システムの特徴は、eラーニングシステムのように事前に問題コンテンツをサーバに準備することなく、授業中に板書や口頭等で臨機応変に質問を提示し、学生の携帯メールで解答を受け付けることで瞬時に解答結果を得ることができることである。

(4) 初級Cプログラミングの演習支援サーバ tProgrEss によるコード判定と授業実践

倉田英和、富永浩之(香川大学)、林 敏浩(香川大学総合情報基盤センター)、垂水浩幸(香川大学)

<発表概要> 大学情報系の初級C授業において、実行テストによるプログラム判定を行う支援サーバ tProgrEss を開発した。部分的な解答も許容する複数の予備テストを導入し、中間目標を示すことで演習の活性化を目指す。実行テスト系列の構成と採点方法を論じ、授業実践について報告する。

(5) 汎用 e-Learning プラットフォーム WebELS - 大学院教育の多様化・国際化を支援する -
上野晴樹、He Zheng(国立情報学研究所)、嶋本伸雄(国立遺伝学研究所)

<発表概要> 汎用 e-Learning プラットフォーム WebELS は、大学院教育の多様化と国際化を支援するコンテンツシェア型システムであり、実用的で非専門家が使いやすいように設計されている。背景、設計理念、概要、実績、評価、今後の展望を述べる。

(6) 授業最中に学生の理解度把握を目的とした携帯電話を用いた小テストシステム

井上 仁、西田英樹、石田 雅、大野賢一、本村真一、山岸正明(鳥取大学総合メディア基盤センター)、近藤博史(鳥取大学医学部附属病院医療情報部)

<発表概要> 近年盛んな“インターンシップ”は一種の産学協同教育として高い評価を得てきている。しかしながら、この教育プログラムは企業側に負担が大きく、問題が生じている。本発表では、この問題の解決策として「Vインターンシップ」コンセプトを提案し、そのシステム展開を論じる。さらに、実施事例をについて言及する。

(7) RFID を利用した学童保育所支援システムの提案

森 きよみ(拓殖大学)、田中研治(大成ラミック株式会社)

<発表概要> RFID のタグを内蔵した自作のカードにより、放課後保育の現場である学童保育所の運営と安全を支援するシステムを提案し、フィールド調査を行った結果を報告する。

(8) wizpy を使用したモバイル学習環境の作成

小菅貴彦(日本電子専門学校)、中尾貴光(ターボリナックス株式会社)

<発表概要> wizpy は単体としてメディアプレーヤの昨日を持つが、それ以外に wizpy に格納してある LinuxOS から PC を起動することもできる。この機能を利用して学校と自宅、双方でシームレスな学習環境を作成する方策を報告する

(9) モバイル端末を活用した問題交換コミュニティサイト構築の試み

遠西 学、関 秀樹、中村 直人(千葉工業大学大学院)

<発表概要> 学習者が、選択問題を作成、公開し、他の学習者と交換、共有することで協調学習を行うコミュニティサイトを構築した。問題に対し互いに、コメントや評価、タギングを行う事で学習コミュニティの活発化を図る。なお、PC からだけでなく携帯電話などのモバイル端末からのアクセスが可能である。

研究報告のお求めについて

研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は、株式会社毎日学術フォーラムまでお申し込みください。1部1,300円(送料共)です。残部切れの際はご容赦ください。

株式会社毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル2階(東コア)

TEL 03-6267-4550 FAX 03-6267-4555

e-mail maf-sales@mycom.co.jp URL <http://maf.mycom.co.jp>

なお、JSiSE 会員で「研究報告」の年間購読(購読料は送料込みで年間4,000円)をご希望の方はJSiSE 事務局 TEL(06-6324-7767)、Eメール(secretariat@jsise.org)までご連絡ください(年間6回)。この際、ぜひ年間購読されますようお願いいたします。

(教育システム情報学会 研究会委員会委員長/竹内章)

2008年度第2回研究会 講演募集

担当：不破泰，小松川浩，野崎浩成（研究会委員会）

【テーマ】 e-learningの質保証／一般

【開催日】 2008年7月26日（土）

【開催場所】 愛知教育大学
愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1
<http://www.aichi-edu.ac.jp/>

【研究会の主旨】

2008年度の第2回研究会は「e-learningの質保証／一般」というテーマで実施します。昨年度の第2回研究会では、Webテクノロジーを活用した教育支援、学習コンテンツの開発・評価、メディアの教育的利用に関する調査研究など、e-learningに関する研究発表が18件もなされました。

このような流れを受けて、e-learningにおいても、教育の質を保証することが強く求められています。そこで、今回は、学習環境、教育システム、コンテンツ開発、カリキュラム、学習支援、教育評価、システムの運用体制などの質的向上を目指した研究発表を募集します。

また、e-learningに関する研究のみならず、教育やシステムに関連するテーマの研究についても広く募ります。奮ってご発表の程、宜しく申し上げます。

【発表申込締切】 2008年5月16日（金）

【発表原稿締切】 2008年6月20日（金）

【発表申込方法】

以下の発表申込フォームを、Emailにて、fuwa@cs.shinshu-u.ac.jp（不破 泰）まで、お送り下さい。

第2回研究会【発表申込フォーム】（締切：5月16日（金））

(1)発表タイトル：

(2)著者・所属：

(3)発表概要（数行程度）：

(4)代表者の連絡先（住所，氏名，Tel，Fax，Email等）：

---> 【送信先】 fuwa@cs.shinshu-u.ac.jp（不破 泰）

【問い合わせ先】

〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1

信州大学 不破 泰

Email fuwa@cs.shinshu-u.ac.jp

【発表原稿の提出方法】

- (1)学会事務局宛 (secretariat@jsise.org) に、PDF形式にて送信して下さい。
なお、郵送の場合も、学会事務局宛へ締切日必着にて、お送り下さい。
- (2)原稿はA4用紙で、2枚以上8枚以下でお願いします。
- (3)書式は学会誌原稿執筆要項の通りです。
- (4)原稿締切：6月20日(金)

【担当委員】

不破 泰 (信州大学) fuwa@cs.shinshu-u.ac.jp
小松川 浩 (千歳科学技術大学) hiroschi@photon.chitose.ac.jp
野崎 浩成 (愛知教育大学) nozaki@aeu.ac.jp

2008年度 研究会開催予定

日 時	内 容	会 場	担 当
2008年5月30日(金)	第1回研究会 eラーニング環境のデザインと HRD (Human Resource Development) / 一般	メディア教育 開発センター	仲林, 石打, 松居
2008年7月26日(土)	第2回研究会 e-learningの質保証 / 一般	愛知教育大学	小松川, 不破, 野崎
2008年10月11日(土)	第3回研究会 ゲーム・シミュレーション, エンタテインメントと 教育 / 一般	香川大学	米澤, 林
2008年11月頃	第4回研究会 新しいインタラクションを取り入れた学習支援 およびスキル支援 / 一般	和歌山大学	平嶋, 柏原, 小尻, 曾我
2009年1月頃	第5回研究会 新しいデバイスと教育システム / 一般	未定	佐々木
2009年3月14日(土)	第6回研究会 大学の情報教育 / 一般	長崎大学	松永, 西野



特集論文募集 (2009年1月発行号掲載)

学会誌編集委員会

テーマ：次世代情報教育の構築へ向けて

○主旨：

初等・中等教育から高等教育，企業内教育，生涯教育に至るまで，これまでに例を見ない規模で情報教育が実践されるようになりました。教育内容が充実するとともに，さまざまなメディアやシステムを活用した情報教育が研究され，実践されています。小・中・高等学校では情報教育が教育課程に組み入れ，大学の情報教育も，それを受けて教育内容や方法の見直しが進められています。

また，情報通信技術（ICT）を教育内容として取り入れるだけでなく，授業支援として利用したり，新たなシステムを開発して情報教育で活用するような試みもあります。

このような現状を踏まえ，次世代の情報教育の目標，内容，方法，評価等を方向付けるためにも，これまでに実践されてきた情報教育の成果を論文としてまとめて共有することは有意義であると考え，ここに情報教育に関する特集号を企画いたしました。

○対象分野：

広く情報教育に関する論文を募集いたします。

キーワードとしては，以下のものが考えられますが，これらに限りません。

ICTを活用した情報教育，情報処理教育，プログラミング教育，情報教育の教材および環境開発，情報リテラシー教育，情報活用能力の育成，情報の科学的な理解，初等教育・中等教育・高等教育・企業内教育・生涯教育における情報教育の実践，情報倫理教育，情報教育の内容・方法・評価，情報教育指導者の育成・研修，など

○論文種別：

すべての種別の論文を受け付けます。ショートノート、実践速報も歓迎いたします。なお、査読の結果より、異なる種別での採録になることがあります。

また、編集委員会の判断で、特集ではなく一般投稿論文としての採録とさせていただくことがあります。

○投稿要領：

一般の論文投稿規程に準じます。投稿に際しては、原稿の1ページ目および送付する封筒に、「次世代情報教育の構築へ向けて特集」朱書きしてください。

○スケジュール：

投稿締め切り：2008年5月8日（木）

掲載予定：2009年1月1日発行の学会誌

○問い合わせ・原稿送付先：

教育システム情報学会事務局

〒533-0005 大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25 パティオ白川 101号

e-Mail：jsise-j@jsise.org（学会誌編集委員会）

問い合わせ先・原稿送付先が変更になりましたのでご注意ください。

教育システム情報学会英文誌 論文募集

(Vol.7, No.1, 2008年12月発行予定)

英文誌編集委員会

教育システム情報学会では、2002年度から年1回定期的に英文誌を発行しています。これまでに発行してきました英文誌は、質・量ともに「教育とコミュニケーション技術」に関する世界レベルの内容となりました。このたび、Vol.7に掲載する論文を募集いたします。是非、多くの方々にご投稿いただき、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて積極的に発信していただきたいと思っております。

下記の要領に沿って、ご投稿いただきますよう、お願いいたします。

○論文種別：

原著論文(Original Paper)、実践論文(Practical Paper)、ショートノート(Short Note)、実践速報(Report on Practice)

○投稿締切：

2008年5月17日

(投稿は随時受け付けていますが、この期日までにご投稿いただいたものに関しては、Vol.7, No.1への掲載対象となります)

○投稿要件：

- ・論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
- ・寄稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員である場合には投稿料に会員の価格が適用されます。寄稿者が2名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも1名が会員であれば、投稿料に会員価格が適用されます。

○原稿執筆要領：

英文論文誌もしくは下記の URL を参照してください
(http://www.jsise.org/e_journal/ejournal.html)

○投稿方法：

オリジナル原稿を PDF 形式にしたものを電子メールに添付して JSiSE 英文誌編集事務局 (jsise-e@jsise.org) へ送付してください。その他のファイル形式 や提出方法を希望される場合は、お問い合わせください。

○問い合わせ先 (メールにてお問い合わせください)：

jsise-e@jsise.org
JSiSE 英文誌編集事務局

新入会員の紹介

新入会員（敬称略）

（会員 No.）	（氏 名）	（所 属 機 関）	（会員種別）
JSiSE-A0702668	星田 昌紀	千葉商科大学	正会員
JSiSE-A0702669	山本 富士男	神奈川工科大学	正会員
JSiSE-A0702670	神谷 徳昭	会津大学	正会員
JSiSE-A0702672	室谷 心	松本大学	正会員
JSiSE-A0702673	小野 博	メディア教育開発センター	正会員
JSiSE-A0702674	小宮 全	新宿情報ビジネス専門学校	正会員
JSiSE-A0702675	常川 直樹	北陸先端科学技術大学院大学	準会員
JSiSE-A0702676	石井 徹	東京理科大学大学院	準会員
JSiSE-A0702677	永田 奈央美	電気通信大学大学院	準会員

2007年度新入会員（2007年11月20日～2008年1月24日）

教育システム情報学会 第33回全国大会 開催日程・会場のご案内

第33回全国大会が下記の日程・会場にて開催されることが決まりました。
内容の詳細につきましては、決まり次第、順次ホームページとニュースレターで
お知らせ致します。

日程： 2008年9月3日（水）～9月5日（金）

会場： 熊本大学

学会誌関連のお問合せはこちらへ

学会誌編集業務を円滑に進めるため、専用のメールアドレスを設けました。
今後、学会誌関連のお問合せは下記メールアドレスまでお願い致します。

学会誌編集委員会： jsise-j@jsise.org

英文誌関連のお問合せはこちらへ

英文誌編集委員会： jsise-e@jsise.org